

待合室で豊富なオプション検査をご案内 デジタル化で見やすく、訴求力が向上しました



■ 導入先

医療法人寿楽会 大野クリニックさま

- 大阪/大阪市
- 1989年開設。人間ドックの専門クリニック。地下鉄なんば駅に直結した絶好のロケーションに立地し、「胸部CT検査」「乳がん健診」など10以上のオプション検査を備えられている。



■ 導入商品

インフォメーションディスプレイ
PN-E421 (42v型) ×2台
サイネージコントローラー
PNZP01×2台
e-Signageライト版(コンテンツ配信/表示システム)

- 2011年5月導入。検査の待合室に設置し、オプション検査の各種プランを配信されている。

販売：株式会社扶洋さま

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

当クリニックには「CT検査」「乳がん健診」など10以上のオプション検査があり、これまで待合室にポスターを掲示してご案内していましたが、さらに情報発信力を上げ、より多くの方に利用していただきたいと考えていました。

1枚のディスプレイで複数のプランをご案内。場所を取らずに情報発信量を増やすことが可能になりました。

デジタル化によってコンテンツの更新が手軽になり、製作コストの削減にも繋がっています。



医療法人寿楽会 大野クリニック
事務課長 兼 臨床検査科長
伊勢川剛志さま

■ 導入の背景

豊富なオプションプランを
多くの方にご利用いただくために。

これまで待合室に、ポスター3枚をイーゼルに立てかけて「胸部・腹部CT検査」「内臓脂肪検査」「乳がん健診」の3つのオプションプランのご案内をしていましたが、さらにオプションプランの紹介量を増やし、より多くの方のご利用に結びつけるアピール方法を探していました。

■ 選ばれた理由

1枚のディスプレイから
複数のプランが次々配信できるメリット。

これまで1枚のポスターにつき、1つのプランをご案内していました。ディスプレイなら複数のプランを次々にPRでき、スペースを取らずに情報量を増やせる点が大きなメリットでした。また、株式会社扶洋さまにデモ実演していただいた際、待合室が明るく華やかな印象になり、当クリニックのイメージアップにも繋がると考えました。

■ 導入後の効果

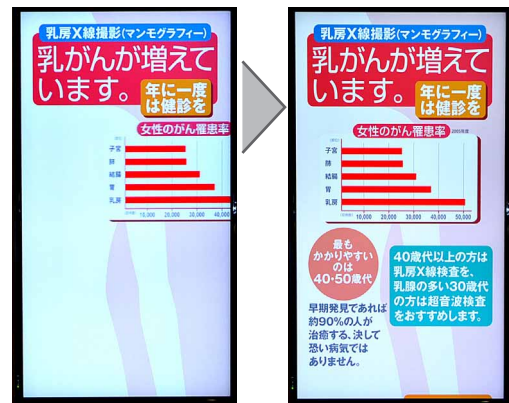
コンテンツの更新が手軽にでき、
製作コストの削減にも繋がっています。

ポスターとコンテンツ作成は同じ制作会社に委託しています。従来のポスターとディスプレイの表示内容は同じですが、イラストや文字に動きをつけて配信しているため、以前より目を留めていただきやすくなりました。また、コンテンツの内容に変更が生じた際、ポスターのように一から作り直す必要がなくなったことで、製作コストの削減にも繋がっています。

■ 今後の展望

病気の予防情報やお天気情報で
コンテンツの充実を図ります。

現在、2台のディスプレイに同じ内容のものを配信していますが、今後はそれぞれ違った情報を流して、中身の充実を図っていく予定です。ニュースやお天気情報、さらに病気の予防情報などを盛り込むことで、当クリニックの付加価値をさらに上げていきたいと思っています。



コンテンツに動きをつけて注目度を向上